

## 山形県内の温室効果ガス削減率（第4次山形県環境計画より）

H25年度  
(基準年)H29年度  
▲16.4%R3年度  
▲22.7%R12年度(目標)  
▲50%R32年度(目標)  
▲100%

## 1. カーボンニュートラルやまがた県民運動

## (1) 概要

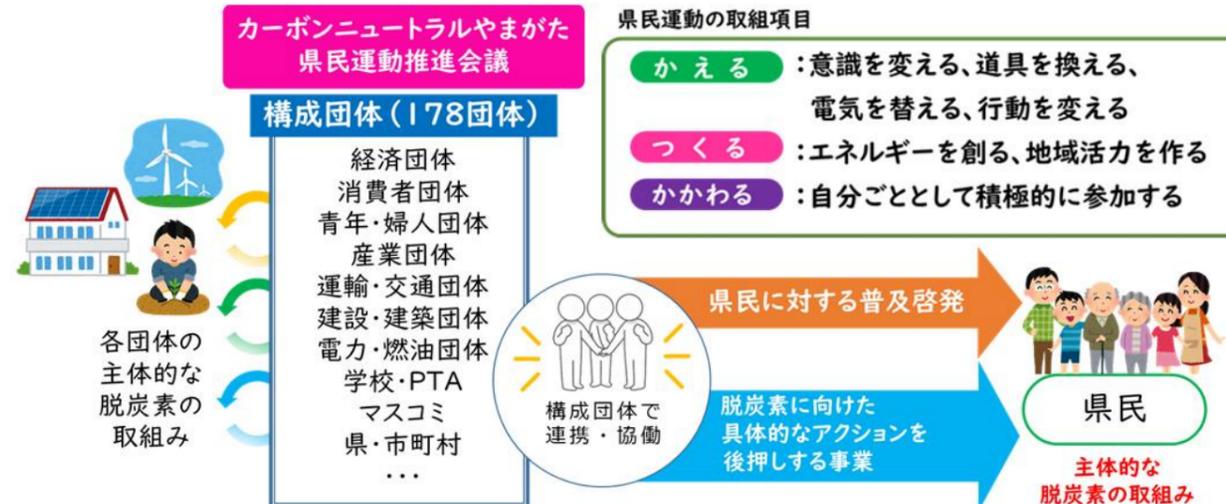
県民一人ひとりが身近なところから、できることからカーボンニュートラルに向けたアクションにチャレンジし、「豊かで美しい山形県」を県民総ぐるみで将来の世代に継承していく運動

## (2) 推進体制

令和4年に、県民運動の推進組織として「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立

## (3) カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

令和7年度は6月3日(火)に開催(於:ホテルメトロポリタン山形)



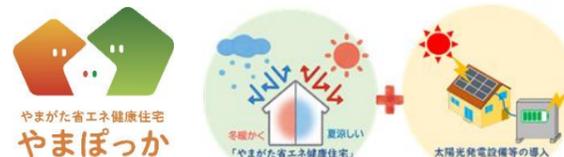
## 2. 県民運動の主な事業（令和7年度）

## かえる

- ①やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月~2月)(県土整備部と連携)
- 年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築する場合、その経費の一部を補助

- 補助対象:  
やまがた省エネ健康住宅と併せて太陽光発電設備等を設置する新築住宅等
- 補助金額:最大200.2万円

※「やまがた省エネ健康住宅」  
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



## つくる

- ②県民のCO2排出量の見える化等による脱炭素アクションの推進(7月~)

新規

- 県民個人の生活に係るCO2排出量を可視化できるツールを作成
- 可視化ツールの活用促進のため、県内スポーツイベントやメディア・SNS等による普及啓発



- ④金融機関と連携した県内企業の脱炭素経営促進(6月~1月)(産業労働部と連携)

新規

- 脱炭素経営の必要性やメリットを伝えるセミナーを開催
- 金融機関と連携して自社の脱炭素経営に向けた取組みを検討する経営塾を開催



- ⑥やまがた未来くるエネルギー補助金(5月~)

家庭や事業所が再エネ等設備を導入する場合、その経費の一部を補助

- 補助対象設備:  
蓄電池設備、木質バイオマス燃焼機器、地中熱利用空調装置・融雪装置



## かかわる

- ⑦小学生向け学習教材の配布(10月~)

拡充

環境人材の育成のため、脱炭素化の取組みや水素を解説した小学生向けデジタル教材や動画等を作成

- ⑧カーボンニュートラル標語・ポスターコンテスト(6月~9月)

「カーボンニュートラル実現への思い」を標語やポスターで表現した作品を県民から募集



令和6年度グランプリ作品(ポスター)

【小学生の部】 【中学生の部】

(教育局と連携)

- ⑨学生環境ボランティアによる普及啓発(6月~)

県内の大学生等を学生環境ボランティアとして登録し、イベントへのブース出展や出前講座を実施

- ⑩やまがた脱炭素ドミノ推進勉強会

新規

脱炭素先行地域に選定された米沢市・飯豊町をはじめとした、先進的・効果的な脱炭素施策に取り組む市町村等と連携し、県内における横展開を図るための、足掛かりとなる勉強会を新たに設置